

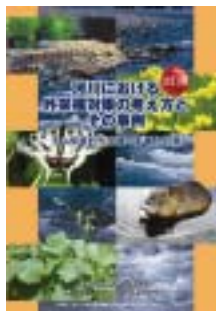
平成21年度河川における外来種対策講習会

生態系グループ 研究員 白尾 豪宏

【開催趣旨】

近年、河川に侵略的な外来種が、河川の生態系のみならず、治水、利水等に様々な問題を引き起こしている。

これに対し、当センターでは平成10年より『外来種影響・対策研究会』を組織して侵略的外来種への対策方法の検討や事例の収集等に努めてきた。また今年度春には、同研究会監修のもと、『改訂版：河川における外来種対策の考え方とその事例』を財団法人日本宝くじ協会の助成によって刊行した。これらを全国の図書館や河川管理事務所等へ配布したところ、多くの反響を得た。



これを受け、当センターでは去る平成21年11月に、直轄の河川、またはダム事務所における外来種対策の知識習得を希望する技術者の方々を対象に、「河川における外来種対策講習会」を開催した。本講習会は、監修委員による外来種対策のあり方や、最新事例の紹介などを通じた外来種対策への有用な知識の習得を目的に、当センターの公益事業の一環として開催したものである。

【開催内容】

- 日時：平成21年11月16日（月）13：00～17：30
- 会場：東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル5階ルノール会議室
- プログラム：
 1. 開会
 2. あいさつ 河川局河川環境課
 3. 基調講演
「河川における外来種対策の考え方」 東京大学 教授 鷺谷いづみ氏
河川局河川環境課
 4. 全国河川の実態報告
 5. 改訂版の紹介 (財)リバーフロント整備センター
<休憩>
 6. 事例研究紹介
 - (1)「ブラックバスの駆除方法と対策について」 近畿大学 教授 細谷和海氏
 - (2)「外来種駆除の取り組みと地域連携について」 京都大学 准教授 竹門康弘氏
 - (3)「多摩川におけるハリエンジュ対策について」 東京農工大学 准教授 星野義延氏
 7. パネルディスカッション
 8. 閉会
- 配布資料：
 - ・改訂版 外来種対策事例集（初版第2刷）
 - ・ブラックバスを科学する（初版第2刷）、ほか
- 参加費用：無料
- 参加人数：65名

【開催結果】

『外来種影響・対策研究会』座長の鷺谷先生による基調講演では、生物多様性条約、温暖化適応策との外来種対策の関連といったグローバルな話題から、事例を含めた「効果的な外来植物対策としての

氾濫原湿地再生」についての具体的な話題を含む講演であった。また、「生態系サービス」、「土壌シードバンク」など、近年のキーワードについても触れられた。細谷先生（近畿大学）、竹門先生（京都大学）、星野先生（東京農工大学）による講演においては、それぞれブラックバス類対策、地域連携による外来種対策、ハリエンジュ対策として具体的な事例に基づく内容であった。

パネルディスカッションにおいては、参加者に事前にいただいた外来種対策に係る技術的な疑問点や、当日参加者から寄せられた質問について講師の先生方より回答をいただいた。

開催後に行ったアンケートからは、有意義な講習内容であったことが伺えたが、フリーアンサー欄からは、「成功・失敗事例の充実」や「河川における地域連携事例の詳細説明」などを求める声も聞かれた。また、現場実習形式がよいとの意見も聞かれた。これらの意見や要望を参考にさせていただき、当センターとして今後とも河川における外来種対策に役立つ情報を発信していきたい所存である。



熱心に耳を傾ける参加者

問い：『本講習会の内容はいかがでしたか？』

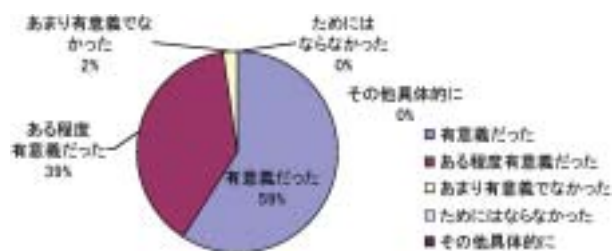


図-1 講習会アンケート結果（その1）

問い：『講習会の形態はいかがでしたか？』

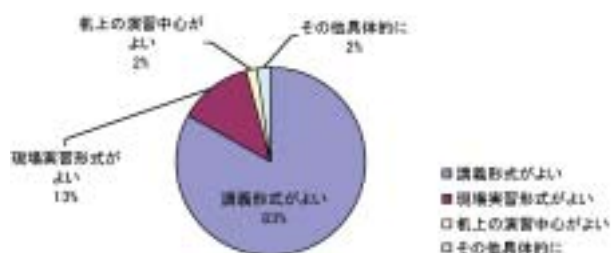


図-2 講習会アンケート結果（その2）